行ってこーわい 会ってこーわい

「磯道來惠視さん」

絵本を通じて ほっとできる空間を提供



「本を読むことで疑似体験をして、自分とは違う 立場の人のことを知ることで、視野が広がって想像 力も豊かになり、考える力や生きる力を伸ばすこと につながります」と本の魅力を話すのは、磯道來惠 視さん=南黒田=。自宅で週1回、家庭文庫(※)を 兼ねた絵本力フェを開いています。

磯道さんが、本に興味を持ったのは約15年前。本屋で『朝の読書が奇跡を生んだ』(高文研)に出会ったのがきっかけでした。その後、子どもの事件に心を痛めていたこともあり、本の読み聞かせのグループにも関わることで、朝読書の大切さを実感した磯道さん。「小さいころ本を読む習慣がなくて…。小さいころから読んでいれば、自分の引き出しがもっと多かったと思います」という自身の経験を踏まえ、家庭やPTAなどで朝読書を働きかけていきました。

子育てが一段落したこともあり、昨年から絵本カフェを開いた磯道さん。「本は、目には見えないけれど、生き方に影響を与えてくれます。ここで一歩を踏み出すきっかけとなる本に出会ってもらえたらと思っています。大人の人も、気分転換となる『ほっとできる場所』としても利用してほしい」という願いが込められたこの空間で、磯道さんはこれからも本を通じた交流を楽しんでいきます。



TO SECOND STATE OF THE PARTY OF

1 本の前で笑顔を浮かべる磯道さん **2** 約 2,200 冊の本が並ぶ

※ 自宅などに絵本や児 童書を集め、地域の人に 開放している文庫のこと

しいと思います。 (久保)集会も含め、みんなで見てほ考えた成果が、今回の特集人一人が町のことを真剣にしく思えました。夏以降、一人でした話していた姿が懐かかな」と話していた姿が懐かかな」と話していたない

でいいでは、子どもたちのプリーで、 に立ち振る舞いで、見る人に 大立ち振る舞いで、見る人に 大立ち振る舞いで、見る人に がとても がとても に立ち振る質料を使い、思いを伝 だっても、 でいたのは、子どもたちのプ

たときの担任の先生だったという事実が発覚。さらに、る年でもあったため、時がたつのは早いなと実感するできごととなりました。今年もあっという間に12月です。あっという間にまた25年が経たないように、一日一日を経たないように、一日一日を作兵衛子供会議の取材で





ひまわりバスに

サンタがやってくる



年ほど前、僕が幼稚園児だっ

松前幼稚園の園長先生は25ティを楽しんでいると、実は、ティ」を取材しました。 パー

ひまわりバスにサンタクロースが乗車して、子どもたちや高齢者に 役立つ交通安全グッズをプレゼントします。ぜひ利用してください。 **日時** 12月25日(金) 4便(役場前11時発)、7便(役場前15時発)

山時 12月25日(金) 4使(伎場削11時光)、/使(伎場削15